能・狂言 かんぜきゅうこうかい

観世九皐会

Noh Kyogen KANZE KYUKOHKAI

令和8年 年間番組

2026 Schedule

やらいのうがくどう

矢来能楽堂

Yarai Noh Theater

令和8年（2026年）観世九皐会 定例会（全指定席・2部入替制）

【単月券】（1部または2部）

正面席 5,500円　脇正面・中正面席 4,400円

学生券（脇正面・中正面）　2,200円　※学生券は26歳未満・要学生証 未就学児入場不可

1部2部通しセット（脇正面・中正面のみ）

7,800円（割引料金）

上半期セット【6枚】（毎月どちらかの部×6ヶ月　計6公演）

正面席　33,000円

脇正面・中正面席　26,400円

上半期通しセット【12枚】（毎月通し×6ヶ月　計12公演）

正面席　66,000円

脇正面・中正面席　42,000円（割引料金）

下半期セット【5枚】（毎月どちらかの部×5ヶ月　計5公演）

正面席　27,500円

脇正面・中正面席　22,000円

下半期通しセット【10枚】（毎月通し×5ヶ月　計10公演）

正面席　55,000円

脇正面・中正面席　35,000円（割引料金）

【ご予約開始・お申込先】

単月券　（1月～6月分）　11/4より

（7月～12月分）　5/1より

カンフェティチケットセンター

https://www.confetti-web.com/@/kanze

050-3092-0051（平日 10:00～17:00）

上半期セット券　（1月～6月分）　9/10～10/20まで販売

下半期セット券　（7月～12月分）　9/10～4/20まで販売

矢来能楽堂事務所

メール ticket@yarai-nohgakudo.com

矢来能楽堂ホームページからお申込フォームでも承ります　https://yarai-nohgakudo.com/

※6枚セットまたは5枚セットをお申し込みの際は、各月の1部または2部のどちらかをあらかじめお決めいただいた上でお申し込みください。

※令和8年は8月の定例会がございません。上半期と下半期でセット券の合計価格が異なります。

※セット券はお申込みのタイミングにより毎月同じお席にならない場合もございます。何卒ご了解ください。

※若竹能、別会、はじめての矢来能楽堂の発売日・料金は、別途設定となります。詳細は決定後の各公演チラシまたはHPにてご確認ください。

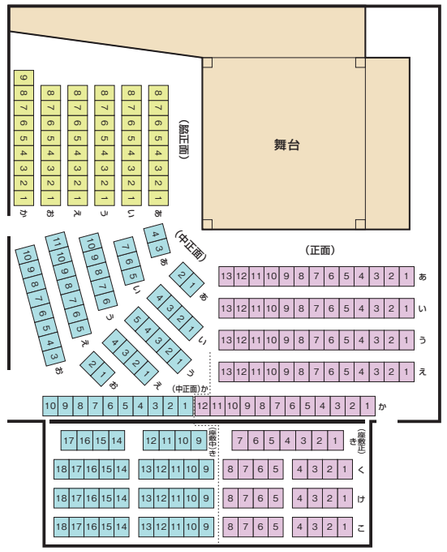
※ご購入後は、公演中止のほかは、原則として払い戻しをいたしません。

※上演中の録音、録画、携帯電話のご使用および、演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場していただく場合もございます。

※記載の事項は、やむを得ない事情により変更となる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページをご覧ください。

主催：公益社団法人観世九皐会

矢来能楽堂 座席表

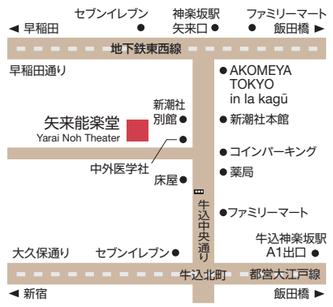


座敷席1列目は堀りごたつ形式でお座りいただけます。
2列目以降は通常のイス席です。

日本橋人形町
菓子司
英
御会の御菓子、
ご要望に応じてご調整いたします。
お気軽にお申し付けください。
東京都中央区日本橋人形町2-3-2
御用命電話番号03-3666-2625

各種謡本、囃子手付
能楽関連書籍
お稽古用品ほか取り扱い
㈱能楽書林
矢来能楽堂内に売店あります
【店　舗】
東京都千代田区神田神保町 3-6
☎03－3264－0846
FAX 03－3264－0847
メール shorin@mercury.plala.or.jp

marutou farm
まるとう農園
by 丸東製茶
〒428-0039
静岡県島田市金谷猪土居3461番地の1
お電話・FAXでのご注文（平日8:30～18:00）
0120-418-391
FAX：0547-46-3966（平日24時間）



地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩2分
都営大江戸線牛込神楽坂駅A1出口より徒歩5分
駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。

公益社団法人
観世九皐会
〒162-0805 東京都新宿区矢来町60番地
電話 03-3268-7311 FAX 03-5261-2980

令和8年 観世九皐会公演

能「菊慈童」

観世九皐会 定例会

〔第1部〕12時30分開演（12時開場）
〔第2部〕15時30分開演（15時開場）

※能の解説があります。
定例会以外の公演の開演時間は、別途設定となります。

毎月第二日曜日に開催の矢来能楽堂の定例公演。2部入替制。
観世九皐会に所属する能楽師がシテ（主役）をつとめ、様々な曲が楽しめます。
どちらかの部に狂言または仕舞（はかま姿で舞う短い演目）も上演。
半期セット券や、お得な1部2部通しセット券もございます。

会場 矢来能楽堂

上半期

1月11日（日） January
第1部 能 翁 桑田貴志
第2部 能 熊野 中所宜夫

2月8日（日） February
第1部 能 弱法師 鈴木啓吾
第2部 能 山姥 佐久間二郎

3月8日（日） March
第1部 能 兼平 中森健之介
第2部 能 海士 小島英明

4月12日（日） April
第1部 能 鶴亀 弘田裕一
第2部 能 柏崎 観世喜正

5月10日（日） May
第1部 能 繪馬 奥川恒治
第2部 能 土車 坂真太郎

6月14日（日） June
第1部 能 龍田 駒瀬直也
第2部 能 羅生門 観世喜正

下半期

7月12日（日） July
第1部 能 雨月 遠藤和久
第2部 能 三井寺 永島充

9月13日（日） September
第1部 能 養老 佐久間二郎
第2部 能 楠露 中森貫太

10月11日（日） October
第1部 能 頼政 遠藤喜久
第2部 能 菊慈童 観世喜正

11月8日（日） November
第1部 能 俊寛 長山耕三
第2部 能 鐵輪 新井麻衣子

12月13日（日） December
第1部 能 葛城 坂真太郎
第2部 能 乱 奥川恒成 観世喜正

※令和8年8月の定例会はお休みいたします。

観世九皐会 別会（特別公演）

国内で最大規模の国立能楽堂での特別公演。能の特別な曲や稀曲などに加え、狂言や仕舞なども上演します。

会場 国立能楽堂（千駄ヶ谷）

4月26日（日）〔13時開演〕
能 咸陽宮 中森健之介
能 葵上 古式 桑田貴志

若竹能

観世九皐会の若手能楽師の研鑽会、若竹会の公開公演。能のエッセンスでもある仕舞も多数披露し、能楽をご堪能いただきます。

会場 矢来能楽堂

2月22日（日）〔13時開演〕
能 賀茂 奥川恒成
能 百萬 長山耕三

7月26日（日）〔13時開演〕
能 敦盛 石井寛人
能 羽衣 彩色之伝 佐久間二郎

矢来能楽堂普及公演 はじめての矢来能楽堂 *special*

能鑑賞がはじめてのお客様にもおススメの人気公演。上演前に能楽師がみどころを解説。わかりやすいイラスト入りテキストを配布。公演後にはフォトセッションタイムもございます。

会場 矢来能楽堂

8月8日（土）
夏休み納涼能
子どもも大人も楽しめる！能楽体験イベントを開催！
1回目〔11時開演〕半能 船辨慶
2回目〔14時開演〕半能 土蜘蛛

5月30日（土）
九皐会皐月能
1回目〔11時開演〕能 土蜘蛛
2回目〔14時開演〕能 小鍛冶

10月31日（土）
古典の日能
1回目〔11時開演〕能 紅葉狩
2回目〔14時開演〕能 土蜘蛛

矢来能楽堂と観世九皐会

矢来能楽堂

神楽坂にある能楽堂（能・狂言の専用舞台）。定期的に能楽公演が行われています。
能楽観世流観世九皐会が所有。平成23年に国の登録有形文化財に登録されました。
観世九皐会の二代目当主である初世観世喜之が昭和5年に現在置（当時の牛込区矢来町）に新築、昭和20年5月24日に空襲で焼失し、昭和27年9月に同位置に二世観世喜之が現舞台を再建しました。舞台には木曽御料林の檜材が使用され、約70年日々磨き上げて大切に使われ続けています。

二世 観世喜之

観世九皐会

能楽の演能団体。能楽五流のうちの観世流の一派です。明治期に観世鉄之丞家から別家した観世清之（1849－1909）が初代当主。
「九皐会」の名は、明治期に初世観世喜之（1885－1940）のもとに集っていた文人の一人である清浦圭吾（のちの二十三代内閣総理大臣）が『詩経』にある「鶴九皐に鳴き声天に聞こゆ」より命名しました。現当主は四代目の三世観世喜之（1935－）。嫡男の観世喜正（1970－）を始め約40名のプロの能楽師が所属しています。昭和27年に文部省（当時）より社団法人の認可を受け、平成24年に内閣府所管の公益社団法人へ移行認可を受けました。

矢来能楽堂（国の登録有形文化財）の維持管理のため、ご寄附をお願いいたします。

金額を問わず少額からご寄付を募っています。【随時募集】
公益社団法人観世九皐会の賛助会員も募集中！
・入会金10,000円
・年会費（当法人の事業年度は4月1日～3月末日です。）
賛助会員（個人）年会費　1口 30,000円～
賛助会員（団体）年会費　1口 50,000円～
矢来能楽堂事務局までお問い合わせください。
書類をお送りします。

※なお、公益社団法人観世九皐会へのご寄附ならびに賛助会費は、個人、法人いずれも税法上の優遇措置（所得控除対象）を受けることができます。